

第4期定時株主総会議事録（概要）

2014年6月24日

第一生命保険株式会社

第4期定時株主総会議事録

1. 日時 2014年6月24日（火曜日） 午前10時
1. 場所 東京都港区台場二丁目6番1号
ホテル グランパシフィック LE DAIBA
地下1階 パレロワイヤル
1. 議決権を行使することができる株主数
906,762名
1. 議決権を行使することができる株主の議決権の数
10,000,533個
1. 出席株主数（議決権行使書及び電磁的方法により議決権を行使した株主を含み、無効分を除く最低有効数による。別紙2記載のとおり。）
189,711名
1. 出席株主の有する議決権の数（議決権行使書及び電磁的方法による議決権行使を含み、無効分を除く最低有効数による。別紙2記載のとおり。）
7,067,311個
1. 株主総会の目的事項
報告事項 2013年度（2013年4月1日から2014年3月31日まで）
事業報告、連結計算書類、計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

決議事項
第1号議案 剰余金の処分の件
第2号議案 取締役10名選任の件
第3号議案 監査役3名選任の件

1. 議事の経過の要領及びその結果

(1) 定刻、代表取締役社長渡邊光一郎は、定款の規定に基づき議長となり、開会を宣した。

次に議長は、本総会の目的事項は、別添招集ご通知 3 頁に記載のとおりである旨を述べた。

次に議長は、議事の進め方について、株主の発言は報告事項の報告及び決議事項である各議案の内容の説明の後に受ける旨を述べ、これを議場に諮ったところ、過半数の賛同が得られた。

次に議長は、本総会の内容について、別室のモニターにて、報道関係者に公開している旨を述べた。あわせて、円滑な議事運営を行うため、カメラを会場に設置している旨を述べた。

次に議長は、事務局より本総会において議決権を行使することができる株主数及びその議決権の数並びに本日の出席株主数及びその議決権の数について、現在までの集計結果を報告させた上で、本総会の決議事項のうち第 1 号議案については、法令・定款の規定上、定足数を要しない議案であり、また第 2 号議案及び第 3 号議案については、所定の定足数が必要だが、本日の出席株主数及びその議決権の数はこの要件を満たしており、各議案は適法に決議することができる旨を述べた。

(2) 議長は、報告事項の報告及び議案の審議に入る前に、連結計算書類の監査結果も含めて監査役会の監査報告を求め、常任監査役近藤総一が、監査役会の協議の結果として、別添招集ご通知 56 頁から 57 頁の監査役会の監査報告書謄本に記載のとおり、事業報告は会社の状況を正しく示しているものと認められる旨、取締役の職務遂行について不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はない旨、及び内部統制システムについて指摘すべき事項はない旨を報告した。

続いて常任監査役近藤総一は、連結計算書類及び個別の計算書類等に関する監査の結果について、別添招集ご通知 54 頁から 55 頁の会計監査人の監査報告書謄本に記載のとおり、それぞれ適正である旨の監査報告書の提出を受けており、会計監査人の監査の方法及びその結果は相当である旨を報告した。

次に常任監査役近藤総一は、各監査役の調査結果として、本総会の議案及び書類についても、法令・定款に適合している旨を報告した。

次に議長は、連結計算書類に係る監査結果について、前記の常任監査役近藤総一からの監査報告のとおりである旨を報告した。

(3) 議長は、本総会の目的事項に従い報告事項に入る旨を述べ、別添招集ご通知 14 頁から 53 頁に記載の 2013 年度（2013 年 4 月 1 日から 2014 年 3 月 31 日まで）事業報告、連結計算書類及び計算書類について、その概要を映像及びナレーションにより報告した。

次に議長は、「中期経営計画の進捗状況と今後の成長戦略」について説明した。

(4) 議長は、決議事項である第 1 号議案から第 3 号議案の各議案を一括して上程し、その内容を説明する旨を述べた。株主の発言は議案説明後にまとめて受ける旨述べた上で、各議案の説明を以下のとおり行った。

・ 第 1 号議案「剰余金の処分の件」

議長は、別添招集ご通知 4 頁の株主総会参考書類に記載のとおり、剰余金の処分については、当社グループとして将来の事業環境の変化に備えるための財務健全性の維持や成長投資に必要な内部留保の確保、有配当保険契約の契約者に対する契約者配当の支払い、株主に対する資本コストを意識した適切な利益還元、それぞれのバランスを考慮して、次のとおりとしたい旨を説明した。

普通株式 1 株につき	20 円
総額	20,001,200,000 円
効力発生日	2014 年 6 月 25 日

・ 第 2 号議案「取締役 10 名選任の件」

議長は、別添招集ご通知 4 頁から 8 頁及び 11 頁の株主総会参考書類に記載のとおり、取締役斎藤勝利、渡邊光一郎、露木繁夫、石井一眞、浅野友靖、寺本秀雄、麻崎秀人、矢島良司、舩橋晴雄及び宮本みち子の 10 氏が本総会終結の時をもって任期満了となることに伴い、社外取締役 2 名を含む取締役 10 名（斎藤勝利、渡邊光一郎、露木繁夫、石井一眞、浅野友靖、寺本秀雄、櫻井謙二、長濱守信、舩橋晴雄及び宮本みち子）の選任をしたい旨を説明した。

・ 第 3 号議案「監査役 3 名選任の件」

議長は、別添招集ご通知 9 頁から 11 頁の株主総会参考書類に記載のとおり、監査役今野照雄、大森政輔及び和地孝の 3 氏が本総会終結の時をもって任期満了となることに伴い、監査役 3 名（永山篤史、大森政輔及び和地孝）の選任をしたい旨及び本議案の提出については監査役会の同意を得ている旨を説明した。

- (5) 議長は、報告事項に関する質問も含め、発言を一括して受け、その後議案につき採決を行う旨を説明した後に、株主からの発言を受ける旨を告げたところ、別紙1のとおり、質疑応答等がなされた。
- (6) 議長は、既に十分に審議を尽くしたと考えるため、これで質疑を終了し、議案の採決に入りたい旨を議場に諮ったところ、過半数の賛同が得られたので、議案の採決に入る旨を告げた。
- まず議長は、第1号議案「剰余金の処分の件」について、賛否を議場に諮ったところ、議決権行使書及び電磁的方法による議決権行使を含め出席株主の過半数の賛成を得たため、原案どおり承認可決された。
- よって議長は、第1号議案は原案どおり承認可決された旨を宣した。
- 次に議長は、第2号議案「取締役10名選任の件」について、賛否を議場に諮ったところ、議決権行使書及び電磁的方法による議決権行使を含め出席株主の過半数の賛成を得たため、原案どおり承認可決された。
- よって議長は、第2号議案は原案どおり承認可決された旨を宣した。
- 次に議長は、第3号議案「監査役3名選任の件」について、賛否を議場に諮ったところ、議決権行使書及び電磁的方法による議決権行使を含め出席株主の過半数の賛成を得たため、原案どおり承認可決された。
- よって議長は、第3号議案は原案どおり承認可決された旨を宣した。
- (7) 議長は、以上をもって本総会の目的事項はすべて終了した旨を告げて、午後0時27分、本総会の閉会を宣した。

1. 株主総会に出席した役員

議長	代表取締役会長	齋藤勝利
	代表取締役社長	渡邊光一郎
	代表取締役副社長執行役員	露木繁夫
	代表取締役専務執行役員	堀尾則光
	取締役専務執行役員	石井一真
	取締役専務執行役員	浅野友靖
	取締役専務執行役員	金井洋
	取締役常務執行役員	寺本秀雄
	取締役常務執行役員	川島貴志
	取締役	麻崎秀人
	取締役	矢島良司
	取締役	船橋晴雄
	取締役	宮本みち子
	常任監査役	今野照雄
	常任監査役	近藤総一
	監査役	大森政輔
	監査役	和地孝
	監査役	谷口恒明

1. 議事録の作成に係る職務を行った取締役

代表取締役社長 渡邊 光一郎

上記の議事を証するため、会社法第 318 条に基づき本議事録を作成する。

2014 年 6 月 24 日

東京都千代田区有楽町一丁目 13 番 1 号
第一生命保険株式会社
代表取締役社長 渡邊 光一郎

質疑等の要旨は次のとおり。

質問等の要旨
株主1 ① 米国プロテクティブ子会社化後の経営方針について ② 欧州・アジア未進出国に対する今後の取組方針について
株主2 ③ 株主優待制度の導入について
株主3 ④ 「一生涯のパートナーWith You プロジェクト」について ⑤ 第4期定時株主総会の日程（火曜日の開催）について ⑥ 割当株式の特別口座保管について ⑦ 満期保険金の払込みについて
株主4 ⑧ 当社株式の安定配当水準について
株主5 ⑨ 女性の役員登用について
株主6 ⑩ セールスの姿勢・お客さま対応について
株主7 ⑪ 再生エネルギー産業への投資について ⑫ 会社見学会の実施について
株主8 ⑬ 当社のTVコマーシャルについて
株主9 ⑭ 株主代表訴訟の結果について ⑮ 交際費に関する考え方について
株主10 ⑯ プロテクティブ子会社化に伴う増資による株価下落（株式価値の希薄化）リスクについて
株主11 ⑰ 「日本版スチュワードシップ・コード」受入れに関する考え方について

質問等の要旨	
株主 12	⑱ 株主配当と契約者配当の決定方法について
株主 13	⑲ 集团的自衛権に対する意見について
株主 14	⑳ 今後の成長戦略について
株主 15	㉑ 保有株式の議決権行使における企業との対話について ㉒ 株式総会開催日時の設定について
株主 16	㉓ 内部留保に関する考え方について ㉔ 社会貢献活動について

議決権行使にかかる集計表

1. 議決権行使株主数・議決権数

議案	議決権行使株主数	議決権行使株主の有する 議決権数
第1号議案	189,711名	7,067,311個
第2号議案	189,754名	7,067,474個
第3号議案	189,734名	7,067,377個

(注) 議決権行使書及び電磁的方法による議決権行使株主数・議決権数に、当日出席した株主数・議決権数を加算。
無効株主数、無効議決権数は算入していない。

2. 当該決議事項に対する賛成、反対及び棄権の意思の表示に係る議決権の数、当該決議事項が可決されるための要件並びに当該決議の結果

議案	賛成	反対	棄権	賛成率	決議 結果
第1号議案	6,768,710個	268,918個	6,438個	95.77%	可決
第2号議案					
斎藤 勝利	6,479,730個	559,777個	4,722個	91.68%	可決
渡邊 光一郎	6,893,419個	146,091個	4,722個	97.53%	可決
露木 繁夫	6,898,145個	137,301個	8,784個	97.60%	可決
石井 一眞	6,898,134個	137,312個	8,784個	97.60%	可決
浅野 友靖	6,898,106個	137,340個	8,784個	97.60%	可決
寺本 秀雄	6,898,154個	137,292個	8,784個	97.60%	可決
櫻井 謙二	7,009,452個	25,994個	8,784個	99.17%	可決
長濱 守信	7,009,369個	26,077個	8,784個	99.17%	可決
船橋 晴雄	6,729,103個	310,407個	4,722個	95.21%	可決
宮本 みち子	6,908,725個	130,785個	4,722個	97.75%	可決
第3号議案					
永山 篤史	6,922,780個	116,711個	4,646個	97.95%	可決
大森 政輔	7,030,119個	9,372個	4,646個	99.47%	可決
和地 孝	4,874,859個	2,164,627個	4,646個	68.97%	可決

- (注1) 1. 第1号議案の可決要件は、出席した議決権を行使することができる株主の議決権の過半数の賛成。
2. 第2号議案及び第3号議案の可決要件は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主の出席、及びその議決権の過半数の賛成。
3. 賛成率は、本総会に出席した株主の議決権数（事前行使分及び当日出席分（途中退場した株主の議決権数を含む））に対する割合。
- (注2) 2014年6月23日午後5時までに行使された議決権の数及び当日出席の株主の議決権のうち各議案の賛否に関して確認できた議決権の数を合計したことにより可決要件を満たし、会社法上適法に決議が成立したため、本総会当日出席の株主のうち、賛成、反対及び棄権の確認ができていない議決権の数は加算していない。

以上